

事業実績書

令和3年3月31日

団体名 綾部市遺族会

事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)	当遺族会は英霊の顕彰、戦没者遺族の福祉増進と相互扶助並びに道義の涵養に努め、平和で戦争のない世界を願って全人類の福祉に貢献することを目的とする。 青年部の発足に伴い事業目的の継承発展を図っていく。
事業の名称	綾部市遺族会事業
事業費 (市補助金)	761,336円 (72,000円)
補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)	戦没者の慰霊、遺族の慰安、会員への情報伝達、役員・支部長の研修会、女性部の研修会活動、遺族通信の購読と配布等の費用に充当している。 青年部も発足し役員会へも出席し協議に参加している。
事業実施期日	令和2年4月1日～令和3年3月31日
事業実施場所	綾部市内外
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 英霊の顕彰並びに慰霊 全国、京都府、綾部市開催の戦没者追悼式への参列 地区慰霊塔、忠魂碑の清掃</li> <li>② 戦没者遺族の相互親睦 年1回綾部市遺族の親睦旅行の実施</li> <li>③ 会員の情報伝達 日本遺族通信（新聞）の購読、配布回覧</li> <li>④ 京都府遺族会研修会や国・府の遺族大会への参加</li> <li>⑤ 本年度はコロナ禍の中で事業中止、縮小等活動の制約を受けた。</li> </ul>
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	日本遺族会や京都府遺族会と連携を図りながら、会員相互の情報伝達を行い、英霊の顕彰、遺族の福祉に貢献できた。

収支予算書（計算書）

令和3年3月31日

団体名 綾部市遺族会

(単位 円)

	区分	予算額	収入済額	明細
	収入の部	綾部市補助金	72,000	72,000
府遺族会補助金		42,100	55,200	府遺族会補助金
会費		785,900	734,900	
雑収入		100,000	6,505	
前期繰越金		421,459	421,459	
合計		1,421,459	1,290,064	
	区分	予算額	支出済額	明細
	支出の部	役員手当	125,000	125,000
支部運営費		260,400	244,750	各地区活動費
会議費		15,000	25,113	会場使用料
負担金		104,000	104,000	府遺族会負担金
新聞代		58,000	43,803	遺族通信購読料
研修費		15,000	5,000	本会研修等
総会費		80,000	29,840	年度定期総会
旅費交通費慶弔費		130,000	75,560	会議招集旅費
印刷費		10,000	15,000	香典、花
通信費		10,000	12,213	会議資料等
通信費		40,000	38,989	郵便料
事務費		10,000	198	封筒
役員慰労会		180,000	0	役員慰労会費用
雑費		50,000	41,870	振込料、カレンダー
予備費		334,059	0	総会費予備費
合計	1,421,459	761,336		
差引	0	528,728		